

中町自治会

移動式ホース格納箱の取扱いと放水訓練

令和元年6月2日（日）午前8時から八雲神社境内に於いて、消防本部の指導を受けて、移動式ホース格納箱の取扱いと消火栓からの放水訓練を行いました。

当自治会エリアは、クラスター（延焼運命共同体）地域と言われ、災害時には火災の初期消火が最重要で、備えとして訓練を行っています。

最初に、境内近くに配備されているホース格納箱の固定チェーンを鍵で外し、訓練場所まで移動、マンホール式消火栓の蓋をハンドルで開けて消防ホースをセットしました。その後、放水と放水弁の開閉を担当に分かれ、交互に訓練を行いました。参加者全員が実体験することで理解を深めて頂きました。今回は特に、親子の参加が多く子供達にも体験して貰い、とても和やかな訓練となりました。



ホース格納箱移動

消火栓の取扱い方



一生懸命の訓練